



▲混雑する宮城県と経済産業省東北経済産業局の共同ブース

東 京国際アニメフェア
2009への参加
石原慎太郎東京都知事が実行委員長を務める「東京国際アニメフェア2009」。2002年から開催しているこのイベントは今年で8回目を数える、世界最大級のアニメの展示会である。3月18日から21日までの4日間、東京都江東区の東京ビッグサイトで開催され、約13万人が足を運んだ。

今回のアニメフェアには、宮城県が主催する宮城・仙台アニメーショングランプリで受賞した優秀なアニメーション作品を出展、宮城県からオリジナルコンテンツを発信しようとブースを構えた。

なぜ、本市がこの世界最大級のアニメ展示会に参加できたのか。一つは、昨年から戦国BASARAのキャラクターでまちおこしを展開している「アニメを活用したまちおこし」が進んでいること。二つには、4月から放送が開始されたアニメ「戦国BASARA」を手掛けた(株)プロダクション・アイジーもブースを構え、アニメ「戦国BASARA」をはじめとする作品を出展していたことなどが主な理由だ。

今回のアニメの放送で、本市にとっては、大きな追い風となることを期待している。

一般の皆さんが入場できるパブリックデーは3月20・21の2日間。主催者発表では、10万3千人もの皆さんが会場を訪れた。ホワイトキューブのすべてのアリーナを3つ合わせた規模の会場には、国内外から255社のアニメ制作会社などさまざまな関連企業が出展した。

本市からは、アニメ「戦国BASARA」と片倉小十郎公のふるさと「宮城県白石市」のピアーアルのため、戦国武将のコスプレ参加と小十郎グッズの販売を行った。400部用意したパンフレットは2日目の午前中ですべてなくなり、2日間の売り上げは16万円を超えた。

埼玉県から来た女性2人は、「戦国BASARAのキャラクターとして、片倉小十郎という武将がいることや、こけしなどの小十郎商品が販売されていることは、インターネットで知っていました。マスコットなどもかわいいですね」と話してくれた。また、東京都から来た2人の女性は、「戦国BASARAで、片倉小十郎のことを知りました。なかなか現地(白石)まで行けないので、ここでグッズを買うことができて良かったです」とうれしそうに語っていた。



21日、正午からアニメ「戦国BASARA」スペシャルステージ(株)プロダクション・アイジーの郡司幹雄さんは、「本年度のアニメフェア2009は、過去最高の入場者を記録して大盛況でした。アニメ「戦国BASARA」のスペシャルステージも立ち見の方が出るほどの大盛況で、あらためてアニメ「戦国BASARA」への期待の高さにびっくりしています」と、イベントの成功に笑顔が絶えない様子だった。

「市役所などの皆さんです」の紹介に会場から笑い声?



(株)プロダクション・アイジーの郡司幹雄さんと協力を約束して固い握手をする風間市長(東京国際アニメフェアにて)



小 十郎グッズも販売

ア ニメ「戦国BASARA」スペシャルステージ



自慢のふるさとを
目指して

—アニメ「戦国BASARA」がスタート!—
今がチャンス! 全国に釣り鐘の音を鳴り響かせよう!

全国各地で、アニメキャラクターを活用した「まちおこし」が展開されている。地元ゆかりのあるアニメキャラクターを使い、タイアップ商品を開発したり、アニメーションに登場する地元の施設や場所でイベントを開催して交流人口の増加を図ったりと、地方のまちに活気を取り戻そうとしている。本市も、ゲームソフトに登場する片倉小十郎公のキャラクターでまちおこしを進めている。

企画情報課 ☎22-1324

▲東京国際アニメフェア2009の会場、アニメ「戦国BASARA」を制作した(株)プロダクション・アイジーのブースの前で



▲TBCで毎週火曜日深夜1時34分から絶賛放送中! DVDも7月1日(水)より、リリース開始!
<http://www.sengokubasara.tv>

本 市を訪ねる女性ファンが急増
本市のアニメキャラクター活用の特徴としては、実際に存在した歴史上の人物がキャラクターとなっていることだ。そのキャラクターは、本市のお殿さま片倉小十郎公である。伊達家の重臣として幕末まで仙台藩を支

え続けた、忠義心の強い武将という史実に加え、ゲームに登場するキャラクターとしてデフォルメされ、イケメンのかっこいいキャラクターとして、若い女性を中心に人気を集めた。

本市でも昨年3月、(株)カプコンの協力で、同社のゲームソフト「戦国BASARA2」(戦国BASARA2英雄外伝(HEROES))に登場するキャラクター、片倉小十郎公を市民バスにラッピングした「小十郎バス」が登場。その後、次々に発売される小十郎公関連商品を専門に販売する「小十郎プラザ」が8月に白石駅前オープン。3月までの8カ月間の売り上げは250万円を超えた。

さらに、10月には白石城三階櫓がそびえる益岡公園で「第1

回鬼小十郎まつり」を開催し、1615年(元和元年)の大坂夏の陣での、真田幸村率いる豊臣軍との「道明寺の戦い」を、公募した約60名の出演者が合戦シーンを再現し、3,000人を超える皆さんが本市を訪れた。

また、アニメ「戦国BASARA」が、3月18日から21日までの4日間、東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された「東京国際アニメフェア」に出品された。この機会を逃してなるものかと、本市でも風間市長を先頭に戦国武将の衣装でのピアーアルや小十郎グッズの販売を行ってきた。

今月は、戦国武将ブームの現状とゲームからアニメーションへと進化を続ける、キャラクター「片倉小十郎公」によるまちおこしを集める。



▲昨年10月に開催した「第1回鬼小十郎まつり」で大坂夏の陣「道明寺の戦い」を再現